

が「東山浄苑建設問題」である。慶讃法要が厳修された翌年、1974(昭和49)年2月、保守派最後の末広愛邦内局の任期が終わり、改革派嶺藤亮師を宗務総長とする内局が誕生しようとした矢先、またもや宗憲、法規を無視して、「本願寺」規則を一部変更する申請が、宗教法人本願寺代表役員大谷光暢名で京都府庁に提出された。1952(昭和27)年施行された宗教法人法により、包括法人である「真宗大谷派」と被包括法人の「本願寺」とに法律上は分かれているが、本来は歴史的にも一体であり、両法人の役員構成もほぼ同じであることから、宗派と本願寺の一体的運営がなされてきた。


しかし、提出された申請書は「本願寺の主体を明確にする」という大谷家と保守派の理由で、大谷派と本願寺を二分するというものであった。これは、宗門の財産のほとんどが「本願寺」名になっており、この規則変更がなされた場合、法主や新門を中心とする大谷家、これを擁護する保守派の意見が強まり、宗議会や門徒の意向が無視

され、大谷家と一部の人間によって宗門の財産が無軌道に処分されるという可能性が危惧されるのである。この問題は、宗門の混乱をますます深くし、ついには、宗議会で推挙された嶺藤宗務総長の任命を管長が、允裁(宗務)に対して決裁すること、ただし、重要な案件について、これを30日間という期限で拒否することができる)を2ヶ月間拒否するという異常事態が起き、允裁が下されるまで行政は完全に混乱した。

この、「本願寺規則変更問題」ならびに、「再議および条例公布拒否問題」のちには「大谷の里計画手形乱発事件」そして、この事件に関係する「本願寺財産差押え事件」、ついには、1979(昭和54)年法主支持派が主張した報恩講の自主的厳修に対し、従来通り行いたい内局は、宗務職員を中心に僧俗を動員し連日の警備体制をとったことにより、主導権争いとなり、警察機隊が出動するという怒声と混乱の分裂報恩講となったのである。


未曾有の混乱は一層その度を増し深刻化していった。それは教団

4/7
第4組 徳生寺
3名




見学コースは以前よりも充実した展示内容で、ぜひご覧になることをお勧めします。

4/6
▼一日参拝 4月▲
第12組お持ち受け
36名




真宗本廟に参って大らかさを感じ、御真影に見守られた帰敬式、忘れられません。

4/6~8
第4組後期教習奉仕団
20名




帰敬式、宣誓式と涙ながらに参加されている姿に胸打たれました。

4/6~7
第19組満照寺お持ち受け奉仕団
37名



「愚禿と名告られた親鸞聖人が果たして見真大師の名を与えられて喜ばれておられるだろうか」。講師の言葉が印象的でした。

4/1~3
第1組善照寺奉仕団
6名



すべての人が共に生きあえる開法の世界を歩みたいと思います。

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌
お持ち受け総上山

▼奉仕団 4月▲
4/1~3
第1組善照寺奉仕団
6名

真宗同朋会運動50年に向けた運動の再検証。今回は、六条山浄苑建設問題、宗教法人本願寺宗派離脱問題、分裂報恩講等、更なる教団存亡の危機を経て発布された新宗憲、そして1988(昭和63)年古賀制二宗務総長演説にみる真宗同朋会運動の再出発について。「点描」は前号に引き続き、1994(平成6)年、弥永北海道博物館から発刊された『北海道開拓と本願寺道路—資料による開拓の歴史』。「確認会」を経てまとめられた小冊子と、新たな学習資料集作成の取り組みについて。

「開申」が内局に出され、これが端緒となり教団問題が次々と惹き起していった。親鸞聖人誕生800年立教開宗750年慶讃法要を翌年に控えた1972(昭和47)年2月28日、突然「管長職譲渡に関する開申は、これを解消し願はくは、今日の重大な時期を自覚し和衷協力、挙宗一致の実を挙げるよう望んでやまない」という内容の「開申解消」が内事部長を通じて宗務総長に対して示され、「開申問題」は最終したかのように見えたが、既に問題は起きていた。

1970(昭和45)年9月、大谷光暢師が、宗門法規に無断で六車興業(大阪)という業者に対し「浄苑建設に関する一切の件」の白紙委任状を出し、願寺所有の

真宗同朋会運動50年に向けて

その検証 歩み(七)

教団問題から見る真宗同朋会運動 (3)

教化本部 古卿 誠幸

六条山に40億の造成費をかけ、2万基収納する骨堂及び礼拝堂を備えた大規模な浄苑を建設する工事が始められていたのである。大谷派がこのような事業を行うためには、本願寺責任役員会(管長、宗務総長、参務等の構成)の審議、総代の同意、参与会(宗議会議員代表で構成)、常務員会(門徒評議会代表で構成)の決議を必要とするという事が、本願寺規則(当時)に記されている。これらが一切諮られることなく実行されたの

御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」
教区御遠忌テーマ「あなたは、与えられたいのちとどう向き合う？」

教化本部通信

【第57回】

真宗門徒の生活 朝夕におつとめをしましょう・声にだしてお念仏を申しましょう
を回復しよう すすんでお寺の法座に身を運びましょう・報恩講を大切にお迎えしましょう

しんらんweb 検索